



株式会社クロス・マーケティンググループ

2026年6月期 第3四半期決算補足資料

2026年5月14日

CONTENTS

- 1** 2026年6月期 第3四半期決算概要
- 2** トピックス
- 3** 2026年6月期 業績予想及び配当計画
- 4** 参考データ

Summary

1

- 2026年6月期第3四半期累計売上高236.0億円(6%増)、営業利益21.2億円(11%減)
- **第3四半期(1-3月)の売上高84.9億円が過去最高を更新**

Summary

2

- **デジタルマーケティング事業：14%増収と好調、各区分増収で全体を牽引**
- **リサーチ・インサイト事業：前年比横ばいも復調傾向、1-3月に増収転換**
- **26年4月に、DIGITALIO・リサーチ°ネ・スタートリングの3社M&Aを実施**

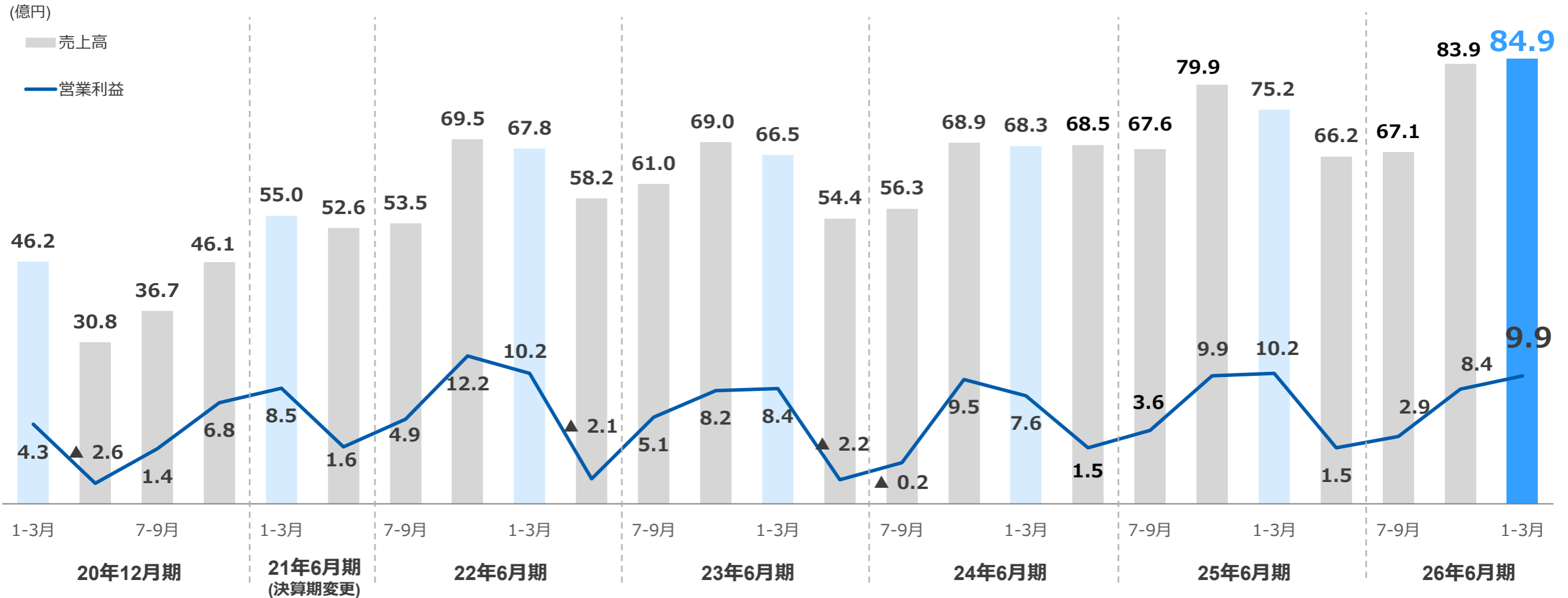
Summary

3

- **26/6期業績は、下期偏重傾向**
- **通期業績予想：売上高320億円、営業利益28億円に変更無し**

1 2026年6月期 第3四半期決算概要

第3四半期(1-3月)売上高は84.9億円、過去最高を更新
 季節性はあるものの、収益基盤が着実に拡大



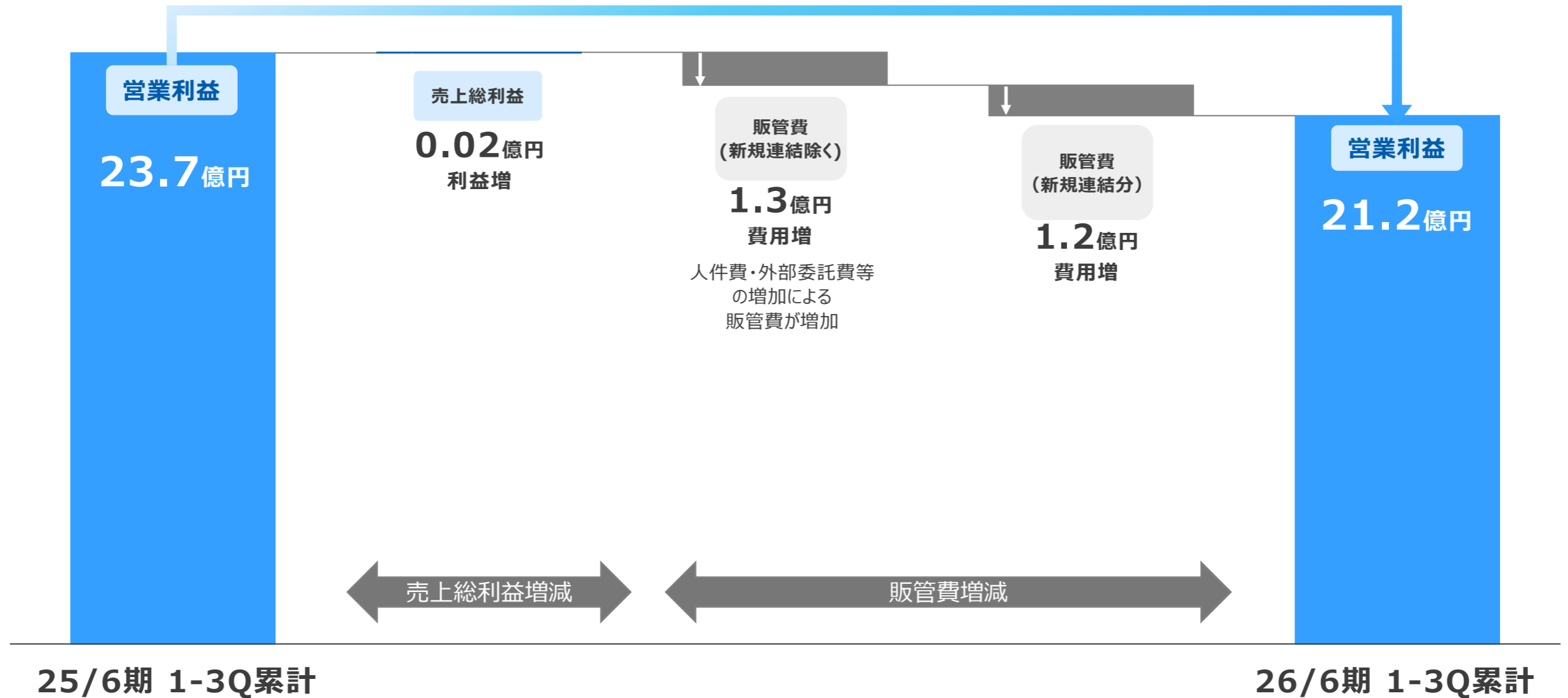
3Q累計売上高は過去最高の236億円、デジタルマーケティング事業が14%増収で全社をけん引 リサーチ・インサイト事業が復調、3Q(1-3月)に6%増収へ転換

(億円)	26年6月期							
	1Q (7-9月)	YoY 成長率	2Q (10-12月)	YoY 成長率	3Q (1-3月)	YoY 成長率	1-3Q 累計	YoY 成長率
売上高	67.1	-1%	83.9	+5%	84.9	+13%	236.0	+5.9%
<u>デジタルマーケティング事業</u>	32.5	+5%	37.5	+14%	37.8	+23%	<u>107.8</u>	+14.3%
<u>リサーチ・インサイト事業</u>	34.6	<u>-6%</u>	46.4	<u>-1%</u>	47.1	<u>+6%</u>	128.1	-0.2%
売上総利益 (売上総利益率)	24.7 (36.8%)	-2% (-0.5pt)	30.8 (36.7%)	-3% (-3.1pt)	32.2 (37.9%)	+5% (-2.9pt)	87.7 (37.1%)	+0.03% (-2.2pt)
販管費(販管費比率)	21.8 (32.6%)	+1% (+0.5pt)	22.4 (26.7%)	+3% (-0.7pt)	22.2 (26.2%)	+9% (-1.0pt)	66.5 (28.2%)	+4.0% (-0.5pt)
営業利益(営業利益率)	2.9 (4.3%)	-19% (1.0pt)	8.4 (10.0%)	-16% (-2.4pt)	9.9 (11.7%)	-3% (-1.9pt)	21.2 (9.0%)	-10.6% (-1.7pt)
EBITDA*1 (EBITDAマージン)	4.3 (6.4%)	-19% (-1.5pt)	9.8 (11.6%)	-16% (-2.8pt)	11.2 (13.2%)	-2% (-2.0pt)	25.3 (10.7%)	-10.7% (-2.0pt)
経常利益	2.9	-2%	9.1	-10%	10.1	+4%	22.1	-3.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1.2	-14%	6.0	-5%	5.8	+3%	13.0	-2.6%

*1: EBITDA: 営業利益+減価償却費+のれん償却費

売上総利益は前期比横ばい。販管費の増加により、営業利益は2.5億円減少

営業利益：2.5億円減 / 11%減

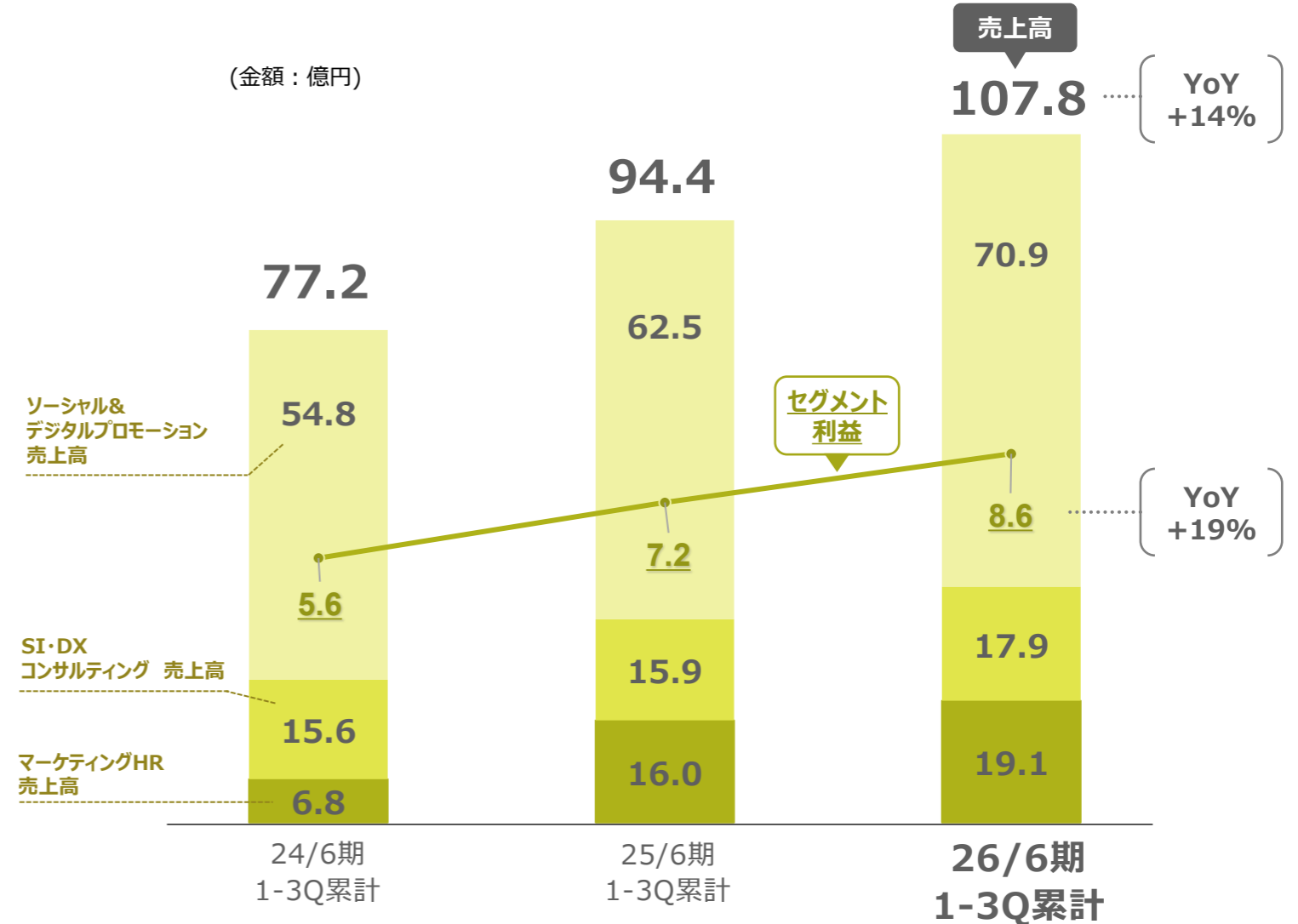


3Q累計売上高107.8億円(14%増)、セグメント利益8.6億円(19%増) 3区分がともに増収し、全体業績を牽引

ハイライト

- ・ **ソーシャル&デジタルプロモーション**：売上高70.9億円(13%増)。インフルエンサーマーケティングやIPプロモーションの高成長が継続し、3PL*1のパスクリエ減収をカバー
- ・ **SI・DXコンサルティング**：売上高17.9億円(13%増)。コンサル領域のCoum新規連結が寄与
- ・ **マーケティングHR**：売上高19.1億円(19%増)。デジタル人材派遣、BPOサービスともに好調
- ・ **セグメント利益**は8.6億円(19%増)。売上高拡大が主因

*1 サードパーティロジスティクスの略。荷主企業と配送業者間に介在し商品・貨物を仲介する物流事業



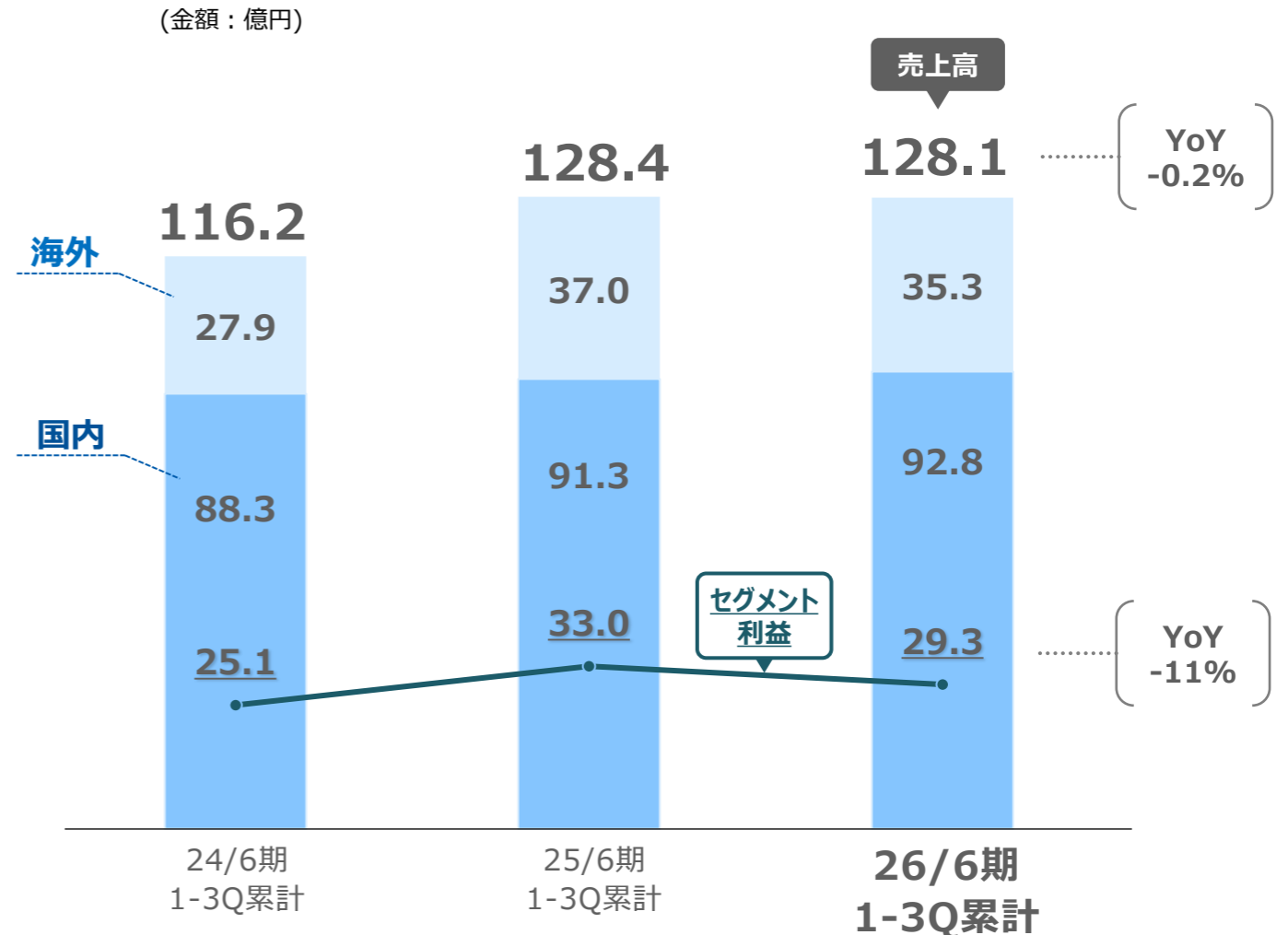
3Q累計売上高128.1億円（0.2%減）、セグメント利益29.3億円（11%減）
 国内は増収を確保も、海外が減収。ただし回復基調で、3Qには増収転換

ハイライト

- ・国内：売上高92.8億円(2%増)。特に3Q(1-3月)は5%増と復調トレンド。業種別では自動車、食品、飲料、レジャー、官公庁等がけん引

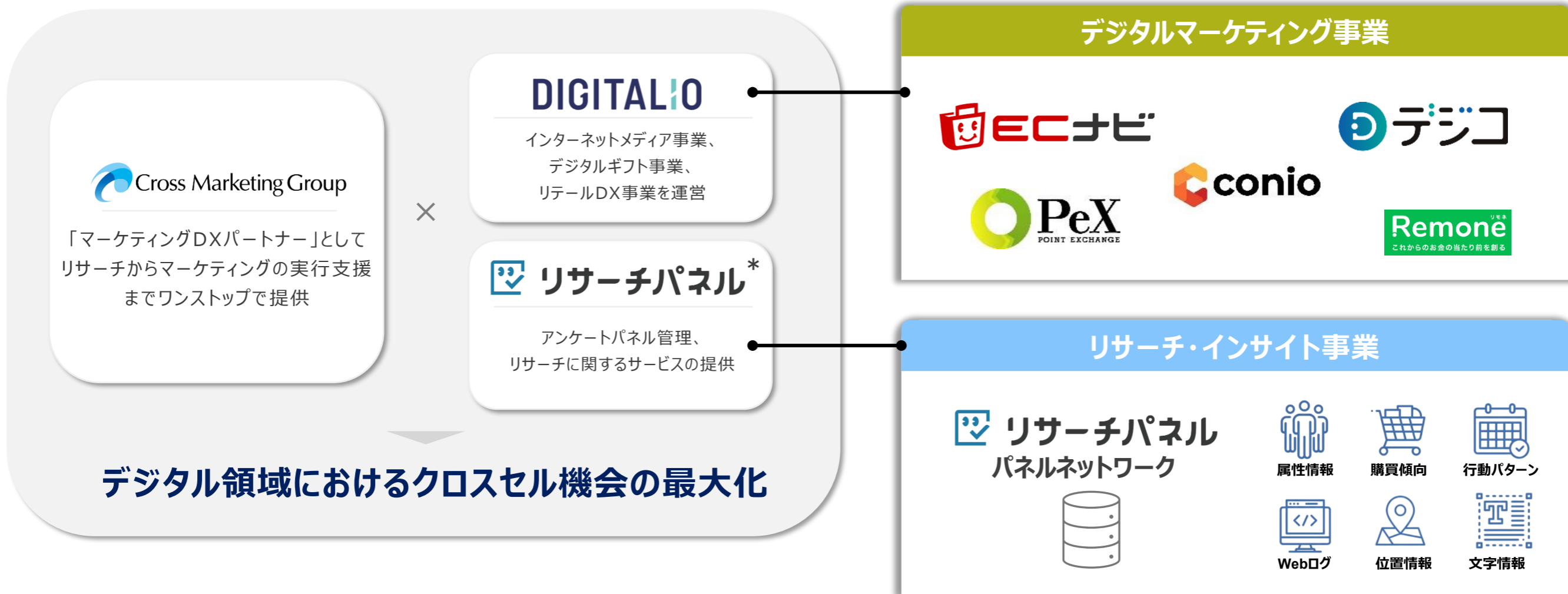
ローライト

- ・海外：売上高35.3億円(4.7%減)。米関税影響や為替変動による案件長期化/下期へのずれ込みにより、インドネシア・インド・英国等が苦戦
- ・セグメント利益:29.3億円(11%減)。海外減収が主要因



2 トピックス

株式会社DIGITALIO、株式会社リサーチパネルの2社を連結子会社化（2026年4月） デジタルマーケティング事業、リサーチ・インサイト事業の両セグメントを強化



* (株)リサーチパネルは、これまでも当社の持分法適用会社であり、主要提携先の1つでした。

DIGITALIO社の主要なサービス紹介



利用者数日本最大級の 「毎日貯まるポイントサイト」

- ・登録会員**900万人**以上
- ・月間**2.9億PV**
- ・強力な送客・データプラットフォーム



日本最大級の 「ポイント交換サイト」

- ・ポイント流通量月間約**15億円**以上
- ・約**90**サービスと提携
- ・ポイント交換による独自経済圏を構築



様々なギフトに交換できる 「デジタルギフト」

- ・交換先は**6000種類**以上
- ・累計提携社数**1,600社**超



スタートリング株式会社を子会社化（2026年4月） デジタルマーケティング事業／IPプロモーション領域における新たな付加価値を創出



デジタルマーケティング事業 シナジー例

× **TOKYO GETS**

IPプロモーション
イベント・商品化
(シナジー例)
IP特化型ブランドの立ち上げ

× **excrie**

ソーシャル&セールスプロモーション
(シナジー例)
製作商品のメディア掲載・ECサイト制作

× **REECH**

インフルエンサーマーケティング
(シナジー例)
インフルエンサーとのコラボ商品製作

スタートリング社の主要な実績・商品紹介

ONE PIECE FILM RED
× 伊勢丹

三越伊勢丹新宿本店にて開催された
「ONE PIECE FILM RED×伊勢丹」
POP UP STOREにて
「ARTIMATION」の先行販売商品を発売しました。

エミリー、パリへ行く
× Heather

Netflixの大人気ドラマ「エミリー、パリへ行く」と
ヘザーのコラボレーション。
クロップドTEEやフォトL/S TEE、ワンピース、小物、
雑貨など、全15のアイテムをローンチ。

学研の図鑑LIVE恐竜
× HAWKINSマッハGT
× ABCマート

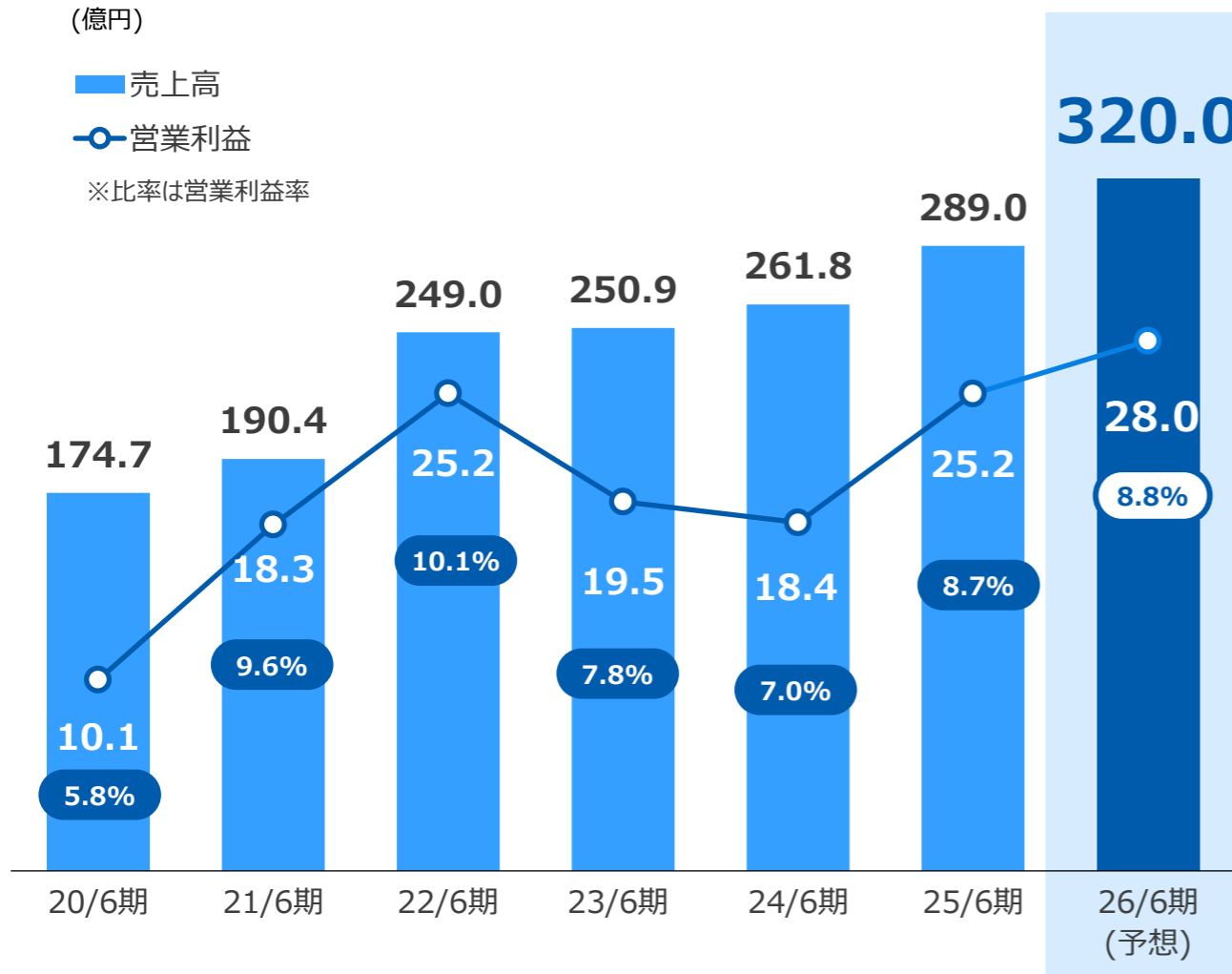
HAWKINSマッハGTより
【学研の図鑑LIVE恐竜】コラボスニーカーがリリース。
歩くとき光る細部までこだわった1足。
全国のABCマートにて発売。



3 2026年6月期 業績予想及び配当予想

26/6期業績は下期偏重傾向

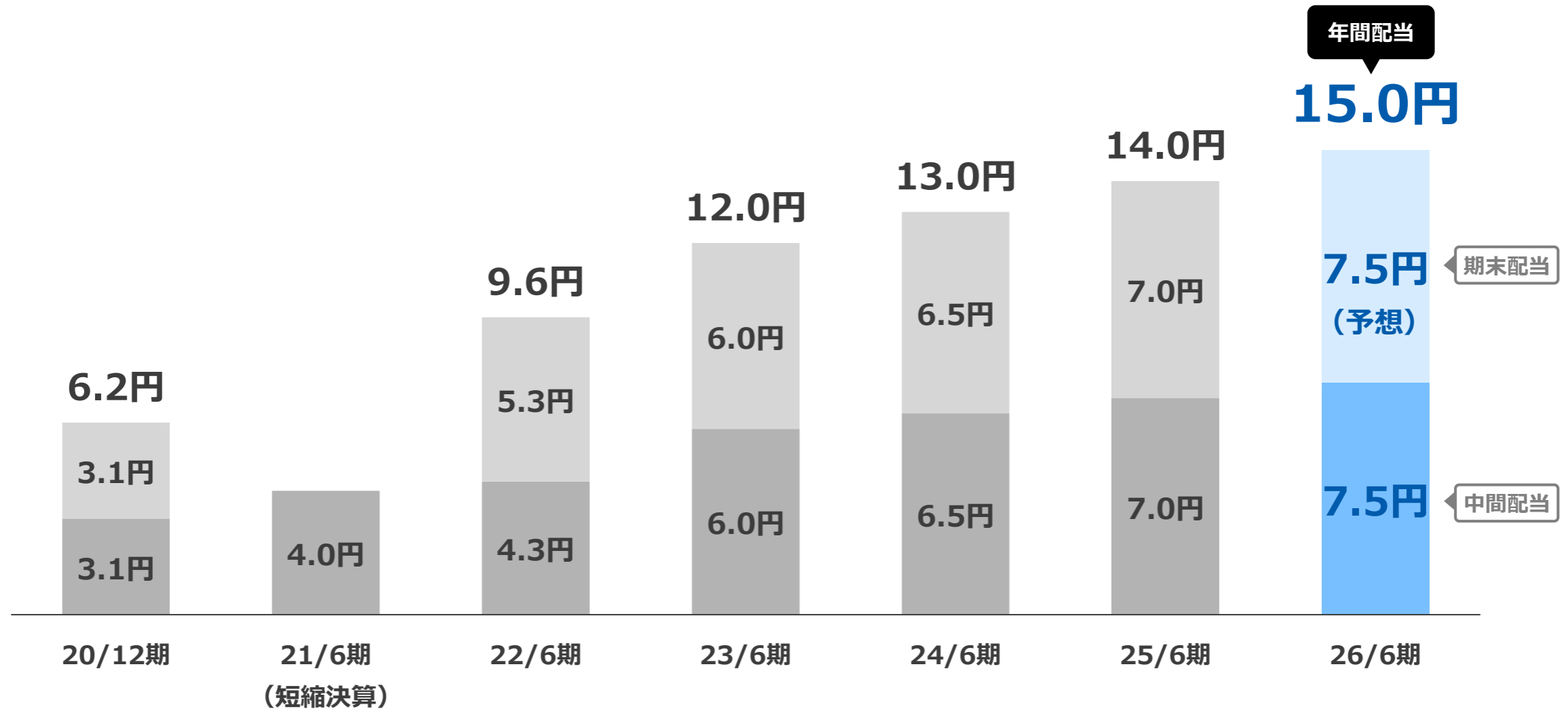
通期業績予想：売上高320億円(11%増)、営業利益28億円(11%増)に変更無し



(億円)	25/6期 実績	26/6期 予想	YoY
売上高	289.0	320.0	+11%
デジタルマーケティング事業	125.2	148.0	+18%
リサーチ・インサイト事業	163.8	172.0	+5%
営業利益	25.2	28.0	+11%
経常利益	24.0	27.0	+12%
親会社株主に帰属する 当期純利益	13.6	15.5	+14%
EPS	70.5	81.7	+14%
一株当たり配当 (円)	14.0	15.0	+1.0

配当方針：配当性向15%前後を目安とした継続的な増配（累進配当）

26/6期予想配当は1株当たり**15.0円**（中間7.5円、期末7.5円）



4 参考データ

エクセル形式の [Fact Sheet](http://www.cm-group.co.jp/ir) は当社IRサイト(www.cm-group.co.jp/ir)内の[こちら](#)に掲載しております。
どうぞご利用ください。

(億円)	25/1-3Q累計	26/1-3Q累計	前年同期比 増減率
売上高	222.7	236.0	+6%
売上総利益	87.6	87.7	+0.03%
(売上総利益率)	(39.3%)	(37.1%)	-2.2pt
販売費 及び 一般管理費	63.9	66.5	+4%
(売上高販管費比率)	(28.7%)	(28.2%)	-0.5pt
営業利益	23.7	21.2	-11%
(営業利益率)	(10.6%)	(9.0%)	-1.7pt
経常利益	22.8	22.1	-3%
特別損益	-0.1	0.0	-
法人税等	9.2	9.1	-2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	13.4	13.0	-3%

1 売上高が過去最高を更新

デジタルマーケティング事業の増収が全体を牽引

2 売上総利益率が低下

デジタルマーケティング事業で利益率低下

3 販管費が増加

人件費増や新規連結により販管費は増加、ただし売上高販管費比率は抑制

(億円)	2025年6月末	2026年3月末	増減額
流動資産	128.7	145.3	+16.6
現金及び預金	76.3	74.4	-1.9
受取手形及び売掛金	37.5	45.5	+7.9
その他	14.8	25.4	+10.6
固定資産	35.5	35.9	+0.4
のれん	11.8	9.6	-2.1
その他	23.8	26.3	+2.6
総資産	164.2	181.3	+17.0
流動負債	54.2	67.0	+12.8
買掛金	12.3	18.6	+6.3
短期借入金※	15.8	15.0	-0.8
その他	26.1	33.4	+7.3
固定負債	30.2	21.9	-8.3
長期借入金	26.7	18.7	-8.0
その他	3.5	3.2	-0.3
純資産	79.9	92.4	+12.5
自己資本比率	48.6%	51.0%	+2.4pt

1 現預金は74.4億円

事業成長投資、借入金返済への充実に十分な水準を確保

2 借入金の減少

短期・長期借入金の返済

2 自己資本比率は51.0%

前期末比で上昇

3

※一年以内返済の長期借入金含む

『デジタルマーケティング』、『リサーチ・インサイト』の2事業セグメントへ
 ～26/6期(1Q決算)より、従来のデータマーケティング事業とインサイト事業を整理統合～

現状	25/6期売上高	新セグメント/内訳	25/6期売上高	ビジネス概要	主要子会社
デジタルマーケティング事業	125億円	デジタルマーケティング事業	125億円		
メディアプロモーション		ソーシャル&デジタルプロモーション		IP/インフルエンサーマーケティング サンプリングメディア、 サードパーティロジスティクス	エクスクリエ、REECH、トキオゲッツ、パスクリエ
ITソリューション		SI・DXコンサルティング		システム/アプリ開発・保守運用、 DXコンサルティング	クロスコミュニケーション、Coum
		マーケティングHR		マーケティング/IT/DX領域人材サービ ス、BPOサービス	オルタナエクス、クリエイティブリソ スインスティチュート
データマーケティング事業	99億円	リサーチ・インサイト事業	164億円		
国内		国内		消費者リサーチ 市場データ収集分析	クロスマーケティング、メディリード
海外		海外		マーケティング・コンサルティング	Kadenceグループ各社
インサイト事業	65億円				
国内					
海外					

※新セグメント基準による業績数値については、次ページをご参照ください

(億円)	25/6期					26/6期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期累計	1Q	2Q	3Q	4Q	通期累計
売上高	67.6	79.9	75.2	66.2	289.0	67.1	83.9	84.9		
デジタルマーケティング事業	30.8	32.8	30.7	30.9	125.2	32.5	37.5	37.8		
ソーシャル&デジタルプロモーション	20.0	22.5	20.0	20.1	82.6	20.0	25.5	25.4		
SI・DXコンサルティング	5.6	4.9	5.3	5.3	21.2	5.4	6.3	6.2		
マーケティングHR	5.2	5.4	5.4	5.4	21.4	7.1	5.9	6.2		
リサーチ・インサイト事業	36.8	47.1	44.5	35.4	163.8	34.6	46.4	47.1		
国内	24.4	33.1	33.9	23.1	114.5	24.8	32.4	35.6		
海外	12.4	14.0	10.6	12.3	49.3	9.8	14.0	11.5		
営業利益	3.6	9.9	10.2	1.5	25.2	2.9	8.4	9.9		
デジタルマーケティング事業	2.1	3.1	2.0	1.8	9.0	2.0	3.1	3.4		
リサーチ・インサイト事業	7.0	12.5	13.6	5.2	38.2	6.2	10.7	12.4		
調整	-5.5	-5.6	-5.4	-5.5	-22.0	-5.4	-5.4	-5.8		

※2025年6月期の新セグメントごとの業績数値はあくまで参考数値であり、監査を実施していません。

本資料に関するご注意

本資料は、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 クロス・マーケティンググループ IR室
Mail : ir@cm-group.co.jp

Cross Marketing Group Inc.
<https://www.cm-group.co.jp>